

事業番号 2022 - 文科 - 21 - 0218

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	博士後期課程学生の処遇向上と研究環境確保			担当部局	科学技術・学術政策局	作成責任者				
事業開始年度	令和2年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	人材政策課	人材政策課長 橋爪 淳				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	「国立研究開発法人科学技術振興機構法」第23条の6、 第25条の2、第31条の3 「科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律」 第27条の2			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2022 新しい資本主義へ～ 課題解決を成長のエンジンに変え、持続可能な経済を実現～ (令和4年6月閣議決定) 成長戦略実行計画(令和3年6月閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月閣議決定)					
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を強化し処遇向上を図るとともに、博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスの整備を進める。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	優秀で志のある博士後期課程学生が研究に専念するための経済的支援(生活費相当額及び研究費)及び博士人材が産業界等を含め幅広く活躍するためのキャリアパス整備(企業での研究インターンシップ等)を一体として行う実力と意欲のある大学を支援する。									
実施方法	委託・請負、補助									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	2,316	3,368	4,901			
		補正予算	-	17,840	34,720					
		前年度から繰越し	-	-	100	-				
		翌年度へ繰越し	-	▲ 100	-					
		予備費等	-	-	-					
	計		0	17,740	37,136	3,368	4,901			
	執行額		-	17,653	36,931					
執行率 (%)		-	100%	99%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		#DIV/0!	99%	100%						
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	創発的研究推進基金補助金	3,336	4,869	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。						
	科学技術人材養成等委託費	30	30							
	職員旅費	0.5	0.5							
	諸謝金	0.3	0.3							
	委員等旅費	0.3	0.3							
	庁費	0.2	0.2							
計	3,368	4,901								
活動内容 (アクティビティ)	博士後期課程学生が研究に専念するための経済的支援及び博士人材が幅広く活躍するためのキャリアパス整備を一体として行う大学を支援する。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	本事業における支援者数が当初見込みの9割を上回る。	本事業における支援者数	活動実績	人	-	0	6,594	-	-	
			当初見込み	人	-	0	6,876	8,044		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	(科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロウシップ創設事業の執行額+次世代研究者挑戦的研究プログラムの1ヶ年分の支援額)÷本事業における支援者数			単位当たり コスト	百万円/人	-	-	2.9	2.6	
				計算式	百万円/人	-	17652.7/0	19418.2/6594	20727.5/8044	

	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
								6年度	年度
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	博士後期課程等への進学者の増加	博士後期課程等への進学者数 ※成果実績=修士課程修了後の進学者数 ※令和n年度の目標値は、 $(n-2) \times (\text{令和2年度の進学者数} - \text{平成30年度の進学者数}) \div 2 + (\text{令和2年度の進学者数})$ として算出	成果実績	人	-	6,961	6,940	-	-
			目標値	人	-	-	7,131	7,641	-
			達成度	%	-	-	97	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	学校基本調査(文部科学省)								
活動内容(アクティビティ)	博士後期課程学生が研究に専念するための経済的支援及び博士人材が幅広く活躍するためのキャリアパス整備を一体として行う大学を支援する。								
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	本事業における支援者数が当初見込みの9割を上回る。	本事業における支援者数	活動実績	人	-	0	6,594	-	-
			当初見込み	人	-	0	6,876	8,044	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	(科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業の執行額+次世代研究者挑戦的研究プログラムの1ヶ年分の支援額) / 本事業における支援者数			単位当たりコスト	百万円/人	-	-	2.9	2.6
				計算式	百万円/人	-	17652.7/0	19418.2/6594	20727.5/8044
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	博士後期課程等への進学率の増加	博士後期課程等への進学率 ※成果実績=修士課程修了後の進学者数/修士課程修了者数 ※令和n年度の目標値は、 $(n-2) \times (\text{令和2年度の進学率} - \text{平成30年度の進学率}) \div 2 + (\text{令和2年度の進学率})$ として算出	成果実績	%	-	9.4	9.7	-	-
			目標値	%	-	-	9.5	9.6	-
			達成度	%	-	-	102	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	学校基本調査(文部科学省)								
活動内容(アクティビティ)	博士後期課程学生が研究に専念するための経済的支援及び博士人材が幅広く活躍するためのキャリアパス整備を一体として行う大学を支援する。								
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	本事業における支援者数が当初見込みの9割を上回る。	本事業における支援者数	活動実績	人	-	0	6,594	-	-
			当初見込み	人	-	0	6,876	8,044	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	(科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業の執行額+次世代研究者挑戦的研究プログラムの1ヶ年分の支援額) / 本事業における支援者数			単位当たりコスト	百万円/人	-	-	2.9	2.6
				計算式	百万円/人	-	17652.7/0	19418.2/6594	20727.5/8044
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	本事業に参加し博士課程を修了した学生の就職率が博士課程修了者の就職率の全国平均を上回る。	本事業の支援大学において、事業に参加し博士課程を修了した学生の就職率	成果実績	%	-	-	87	-	-
			目標値	%	-	69.8	68.4	-	-
			達成度	%	-	-	127	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	学校基本調査(文部科学省)及び本事業で今後実施を検討する調査								

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化		
		施策	8-1 科学技術・イノベーションを担う人材力の強化	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-03.pdf
			該当箇所	1ページ	
	新経済・財政再生計画改革工程表	取組事項	分野: 文教・科学技術	2. イノベーションによる歳出効率化等	
2021		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/031223_divided/report_211223_2_2.pdf		
		該当箇所	101ページ		
事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定)等に基づいて国として進めることが必要な施策であり、優秀な博士後期課程学生を多様なキャリア人材へと導くニーズの高い事業である。	
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定)等に基づき博士後期課程学生の処遇向上とキャリアパスの拡大を実施している施策であり、国全体としての取組が必要となるため、地方自治体、民間等に委ねることが出来ない事業である。	
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定)等に示されている目標の実現のための施策であり、政策目的の達成手段として必要であり優先度の高い事業である。	
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	委託先の選定に当たっては一般競争入札等を行い、競争性を確保し選定している。補助事業者及び補助事業者からの支出先の選定に当たっては、公募要領等を定めたうえで公募を行い、第三者委員会において審査・選定している。	
		一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
		競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○	国費の効率的な投入と、事業実施機関における自主経費の支出のバランスに考慮した事業運営を行っている。	
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	国費の効率的な投入と、事業実施機関における自主経費の支出のバランスに考慮した事業運営を行っている。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	公募要領等で対象経費を明示・限定するとともに、交付申請書等により、内容が真に必要なものとなっているか確認している。	
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-		
事業の有効性		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	概ね成果目標に見合った成果実績が上がっている。	
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	本事業の効果及びコストについては、額の確定調査等により適切に確認している。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	概ね見込みに見合った活動実績が上がっている。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-	
関連事業		関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-	
		事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	事業の実施に当たっては、応募機関からの提案内容を外部有識者で構成される委員会等において公正・中立に審査し、競争性の確保を図っている。また、本事業の効果及びコストについては、額の確定調査等を行い、支出の合理性・用途について適切に確認している。更に、概ね見込みに見合う活動を実施しており、着実に成果を上げている。引き続き、博士後期課程学生の処遇向上とキャリアパスの確保のため、効果的な支援が実施されるよう確実な事業の実施に努める必要がある。			
	改善の方向性	補助事業者に対して、大学における博士後期課程学生支援プロジェクトの実施状況について、個別の学生に対する補助事業者からの意見聴取をはじめ、サイトビジット、進捗報告会、報告書等を含むモニタリングを行い、個々の学生による研究の実施状況やキャリア開発・育成コンテンツの実施状況等について確認することを求める。また、補助事業者による確認の結果、研究やキャリア開発・育成コンテンツが申請内容と異なる等、改善が必要と判断される場合は改善勧告を发出し、改善勧告後も改善が見られない場合は、事業期間中に活動経費の減額や博士後期課程学生支援プロジェクトの中止・中断などの措置をとることを含め対応について検討することを求める。			

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り

この事業は、引き続き事業規模の適正化に留意しつつ、早期執行等、適正かつ効率的な事業の実施を図るべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

引き続き、我が国の将来の科学技術・イノベーションを担う優秀な博士後期課程の処遇向上とキャリアパス確保のため、効果的な事業の実施を図りたい。

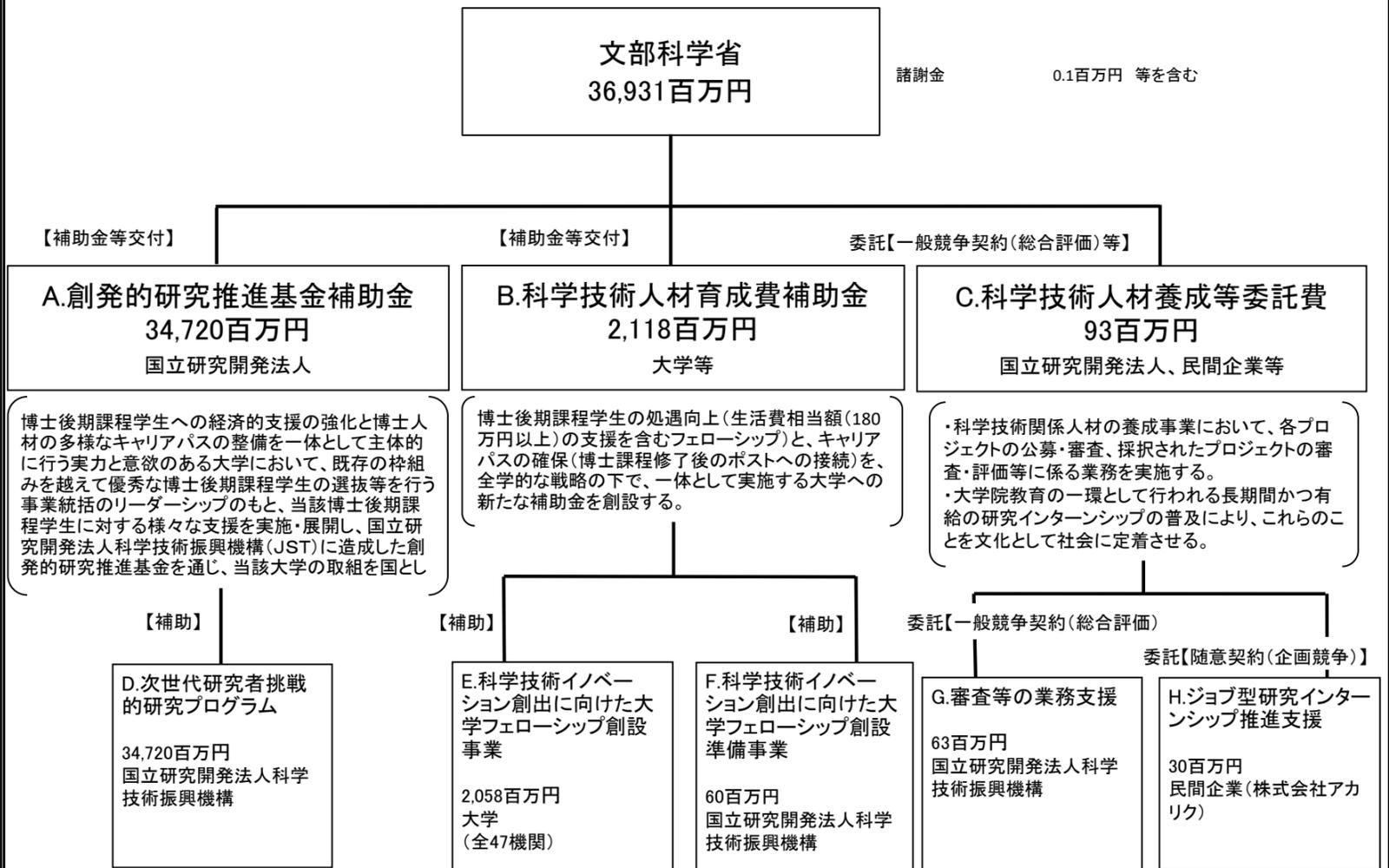
備考

関連する過去のレビューシートの実績番号

平成23年度					
平成24年度					
平成25年度					
平成26年度					
平成27年度					
平成28年度					
平成29年度					
平成30年度					
令和元年度					
令和2年度	文部科学省	新03	0013		
令和3年度	2021	文科	20	0214	2021 文科 20 0220

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額が 支出されている者 について記載す る。費目と使途の 双方で実情が分 かるように記載)	A.国立研究開発法人科学技術振興機構			B.国立大学法人東北大学		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	創発的研究推進基金補助金	次世代研究者挑戦的研究プログラムの実施に必要な経費	34,720	フェロシップ経費	博士後期課程学生の処遇向上(生活費相当額(180万円以上)と研究費)に資する支援	200
				事務経費	博士後期課程学生の支援を実施するための経費	35
	計		34,720	計		235
	C.国立研究開発法人科学技術振興機構			D.国立研究開発法人科学技術振興機構		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	業務担当職員及び補助者の人件費	50	創発的研究推進基金補助金	次世代研究者挑戦的研究プログラムの実施に必要な経費	34,720
	業務実施費	業務を実施する上で必要となる旅費、消耗品費等	11			
	一般管理費(2.7%)	上記経費の2.7%	2			
計		63	計		34,720	
E.国立大学法人東北大学			F.国立研究開発法人科学技術振興機構			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
フェロシップ経費	博士後期課程学生の処遇向上(生活費相当額(180万円以上)と研究費)に資する支援	200	事業実施費	事業を実施する上で必要となる旅費、消耗品費等	53	
事務経費	博士後期課程学生の支援を実施するための経費	35	人件費	業務担当職員及び補助者の人件費	7	
計		235	計		60	
G.国立研究開発法人科学技術振興機構			H.株式会社アカリク			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
人件費	業務担当職員及び補助者の人件費	50	人件費	業務担当職員及び補助者の人件費	23	
業務実施費	業務を実施する上で必要となる旅費、消耗品費等	11	事業費	事業を実施する上で必要となる雑役務費等	4	
一般管理費(2.7%)	上記経費の2.7%	2	一般管理費	上記経費の10%	3	
計		63	計		30	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人科学技術振興機構	4030005012570	次世代研究者挑戦的研究プログラムの実施に必要な経費	34,720	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東北大学	7370005002147	博士後期課程に対するフェロロシップと修了後のポスト確保に向けた支援を実施	235	補助金等交付	-	-	
2	国立大学法人東京大学	5010005007398	博士後期課程に対するフェロロシップと修了後のポスト確保に向けた支援を実施	205	補助金等交付	-	-	
3	国立大学法人京都大学	3130005005532	博士後期課程に対するフェロロシップと修了後のポスト確保に向けた支援を実施	170	補助金等交付	-	-	
4	国立大学法人大阪大学	4120905002554	博士後期課程に対するフェロロシップと修了後のポスト確保に向けた支援を実施	165	補助金等交付	-	-	
5	国立大学法人東海国立大学機構(名古屋大学)	3180005006071	博士後期課程に対するフェロロシップと修了後のポスト確保に向けた支援を実施	146	補助金等交付	-	-	
6	国立大学法人北海道大学	6430005004014	博士後期課程に対するフェロロシップと修了後のポスト確保に向けた支援を実施	98	補助金等交付	-	-	
7	国立大学法人広島大学	1240005004054	博士後期課程に対するフェロロシップと修了後のポスト確保に向けた支援を実施	90	補助金等交付	-	-	
8	国立大学法人筑波大学	5050005005266	博士後期課程に対するフェロロシップと修了後のポスト確保に向けた支援を実施	70	補助金等交付	-	-	
9	国立大学法人九州大学	3290005003743	博士後期課程に対するフェロロシップと修了後のポスト確保に向けた支援を実施	69	補助金等交付	-	-	
10	国立大学法人東京工業大学	9013205001282	博士後期課程に対するフェロロシップと修了後のポスト確保に向けた支援を実施	60	補助金等交付	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人科学技術振興機構	4030005012570	大学フェロロシップ事業に係る進捗管理等を実施	63	一般競争契約 (総合評価)	2	64.8%	-
2	株式会社アカリク	4011001065110	博士後期課程学生のキャリアパスに係るマッチング支援等を実施	30	随意契約 (企画競争)	4	-	-

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人科学技術振興機構	4030005012570	次世代研究者挑戦的研究プログラムの実施に必要な経費	34,720	補助金等交付	-	-	

